()

1 [2025 年度 都立高校入試問題より]

- a) $3-6^2 \div 4$ を計算せよ.
- b) $\frac{9a-b}{5} a + 2b$ を計算せよ.
- c) $(3\sqrt{7}+8)(3\sqrt{7}-8)$ を計算せよ.
- d) 一次方程式 $\frac{9x-6}{2} = 4x+1$ を解け.
- e) 連立方程式 $\begin{cases} 8x 5y = -3 \\ y = 2x 1 \end{cases}$ を解け.
- f) 二次方程式 $x^2 9x + 7 = 0$ を解け.
- g) 関数 $y = -x^2$ いついて, x の変域が $-2 \le x \le 3$ のとき, y の変域を求めよ.

2 [2025 年度 神奈川県立高校入試問題より]

次の計算をしなさい.

- a) -4 + (-11)
- b) $\frac{1}{6} \frac{4}{7}$
- c) $36a^2b^2 \times 6b \div 8a$
- d) $\frac{2x+y}{3} \frac{x-3y}{5}$
- e) $(4+\sqrt{3})(4-\sqrt{3})-2(1-\sqrt{3})$

3 [2025 年度 神奈川県立高校入試問題より]

次の問いに答えなさい.

- a) $(x-5)^2-7(x-5)-18$ を因数分解しなさい.
- b) 2次方程式 $5x^2 + 7x + 1 = 0$ を解きなさい.
- c) 関数 $y = -4x^2$ について, x の値が -5 から -1 まで増加するときの変化の割合を求めなさい.
- d) ある工場で生産している製品 A について、今週と先週に生産した個数を比べると、今週は先週より 1 割増え、今週と先週に生産した個数をあわせると 567 個だった。このとき、この工場で今週に生産した製品 A の個数を求めなさい。
- e) $4 < \sqrt{n} < 5$ を満たす自然数 n のうち、 $\sqrt{2n}$ が整数となるような n の値を求めなさい.

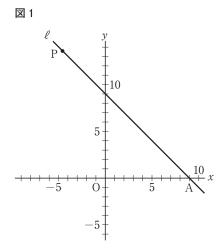
4 [2019 年度 都立高校入試問題より]

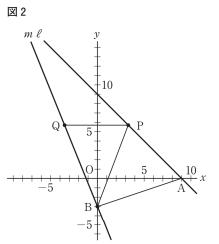
右の 図 1 で、点 O は原点、直線 ℓ は一次関数 y=-x+9 のグラフを表している。

直線 ℓ と x 軸の交点を A, 直線 ℓ 上にある点を P とする. 次の各問に答えよ.

- a) 点 P O x 座標が -4 Oとき, 点 P O y 座標を求めよ.
- b) 右の図 2 は、図 1 において、点 P の x 座標が 9 より小さい正の数であるとき、y 軸上にあり、y 座標が -3 である点を B, y 軸を対称の軸として点 P と線対称な点を Q, 2 点 B, Q を通る直線を m とし、点 A と点 B, 点 B と点 P, 点 P と点 Q をそれぞれ結んだ場合を表している.

点 P が点 (2,7) のとき、直線 m の式を求めよ.





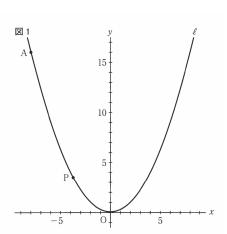
[2022 年度 都立高校入試問題より]

右の図 1 で、点 0 は原点、曲線 ℓ は関数 $y=\frac{1}{4}x^2$ のグラフを表している。

点 A は曲線 ℓ 上にあり、x 座標は -8 である. 曲線 ℓ 上にあり、x 座標は -8 より大きい数である点を P とする.

次の各問に答えよ.

- a) 点 P の x 座標を a, y 座標を b とする. a のとる値 の範囲が $-4 \le a \le 1$ のとき, b のとる値の範囲を求めよ.



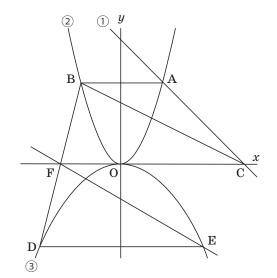
6 [2023 年度 神奈川県立高校入試問題より]

右の図において、直線 ① は関数 y=-x+9 の グラフであり、曲線 ② は関数 $y=ax^2$ のグラフ、曲線 ③ は関数 $y=-\frac{1}{6}x^2$ のグラフである.

点 A は直線 ① と曲線 ② との交点で、その x 座標は 3 である. 点 B は曲線 ② 上の点で、線分 AB は x 軸に平行である. 点 C は直線 ① と x 軸との交点である.

また、2 点 D, E は曲線 ③ 上の点で、点 D の x 座標は -6 であり、線分 DE は x 軸に平行である. さらに、点 F は線分 BD と x 軸との交点である. 原点を O とするとき、次の問に答えなさい.

- a) 曲線②の式 $y = ax^2$ のaの値を求めよ.
- b) 直線 EF の式を y = mx + n とするとき, m と n の値を求めよ.

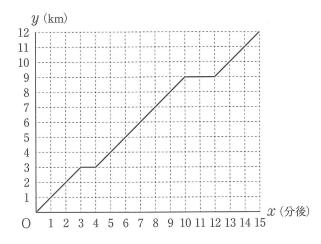


7 [2016 年度 神奈川県立高校入試問題より]

ある鉄道路線があり、A 駅、B 駅、C 駅、D 駅の順に駅がある。A 駅と B 駅の間の道のりは 3km、B 駅と C 駅の間の道のりは 6km、C 駅と D 駅の間の道のりは 3km である。

また、この路線を走行する普通列車は各駅に停車 し、特急列車はA駅とD駅に停車する.

右の図は、この路線において、普通列車 P が、午前 9 時に A 駅を出発してから D 駅に到着するまでの、午前 9 時から x 分後の A 駅からの道のりを ykm として、x と y の関係を表したグラフであり、原



点は O である。このとき、次の問いに答えなさい。ただし、列車の長さは考えないものとし、列車は各駅間において一定の速さで走行するものとする。

- a) 特急列車 Q は, 午前 9 時 5 分に A 駅を出発して D 駅に向かい, D 駅に到着するまで時速 90km で走行した.
 - このとき、特急列車 Q が、A 駅を出発してから D 駅に到着するまでの、午前 9 時から x 分後の A 駅 からの道のりを y km として、x と y の関係を表したグラフを図に書き入れなさい。
- b) 特急列車 R は午前 9 時に D 駅を出発して A 駅に向かい、A 駅に到着するまで時速 90 km で走行した ところ、途中で普通列車 P とすれ違った.
 - このとき、すれ違ったのは特急列車 R が D 駅を出発してから何分何秒後かを求めなさい.